



業種：紙製容器製造業

会社概要：
パッケージ・POP・販促用什器の企
画・製造

所在地：
新潟県燕市吉田東栄町7-8

ホームページ：
<https://www.hoshiyu.co.jp>

会社のPR情報

1957年に軍手を販売する商店としてスタートしました。小さな軍手店が印刷紙器製造を始めるきっかけとなったのは、御取引先様からの発送用段ボールの製造依頼です。流通用の段ボールの製造から自然な流れでパッケージに事業領域を広めていきました。現在では、国内有数の設備と技術力を駆使し、誰もが知るブランドのパッケージ製造を請け負っています。私たちは様々な時代の変化に対応しながら変わり続けてきました。これからもモノづくりを支え、人々の生活を支える存在として、寄り添い、想いに応え続けます。

会社からのメッセージ

弊社では現在7名の障がい者の方が業務に従事しています。従事頂いている作業は、製造補助作業や軽作業などが中心で、貴重な戦力として活躍頂いております。平均勤続10年以上と長く勤めて頂いており、当人たちの努力はもとより、周りの従業員や関係支援機関の協力がある結果であると思います。この先、いろいろな壁に直面することもあるかもしれませんが、従業員一丸となり、支援機関の皆様の協力も頂きながら、と『もにす』すんで参りたいと思います。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	6.93%
定着状況	障害者の平均勤続年数	11年

体制づくり

障害者の活躍推進のためのリーダーシップ・部署横断体制の確立

期初の経営方針発表会の場において、社長から社員に対し、自社における障害者雇用の方針を発信している。

理解促進・啓発の充実

令和4年7月6日にハローワーク巻が開催した「西蒲高等特別支援学校見学会」に社員が参加した。見学会では、資格試験に向けた授業を受ける生徒の様子を見学した他、障害者就業・生活支援センターらいふあっぷから採用後の定着支援についての講義を受け、障害者雇用を進める上での知識を深めた。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

仕事づくり

過去2年間のいずれかの年で経常利益が黒字

令和4年度の経常利益が黒字となっている。

適切な方法により個々の障害者に相応しい職務をマッチング

障害のある社員の欠勤が続いていたため、障がい者就業・生活支援センターハートの支援担当者に相談し、当該社員、ハート支援担当者、事業所担当者で面談を行ったところ、現在担当しているライン作業業務の内容が本人の適性にあっておらず負担となっており、欠勤の要因となっていたため、ハート支援担当者と相談し、本人の了承のもと、包装作業業務への転換を行った。

過去5年間のうち3年以上、障害者就労施設に対して年間100万円以上を発注

令和元年度から令和3年度の間、「角田の里（就労移行支援、就労継続支援B型）」、「ふれあいの家（就労移行支援、就労継続支援B型）」、「ねむの木工房（就労継続支援B型）」に対して、年間200万円前後（3施設の合計）の発注を行っている。

環境づくり

障害者の職場実習生の受入れ

弊社への応募の有無を問わず、障害のある方の職場実習の受入れを行っており、過去3年間では、1人の職場実習生の受入れを行った。

過去3年間に、障害者の職場定着のための外部機関との連携・社会資源の活用を実施

障がい者就業・生活支援センターハート、西蒲高等特別支援学校から定期的に訪問していただき、障害のある社員の状況についての情報共有や意見交換を行っている。また、突発的な困りごとがあった場合は各機関に連絡を取り、相談、助言を受けている。